

高齢者・障がい者の車移動における問題を解消する新サービス開発

高齢者世帯の通院、障がい者の通勤・通院等、日常的に車を使用する人は、日々の移乗動作や運転上で様々な問題を抱えている。この課題を相談・検証し、誰もが自由にクルマを選び、行きたいところに行くために、具体的な解決策まで導くための機器を開発・改良した。



運転席のシートも車椅子からの移動が可能な高さまで動く

成功のポイント

最初是不安な面持ちで当社を訪れるユーザーも、乗りたい車に乗り、行きたいところへ一人で行くという将来をイメージできると、明るい笑顔になってくれます。人生100年と言われる時代が到来し、高齢者や障がい者が、安全に移動できるクルマのニーズは今後もますます高まると思います。本当に必要な人に届けられるように、これからも努力していきます。



代表取締役 清水 深氏

企業名

株式会社オフィス清水

所在地

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-1-14

電話番号

03-6902-0201

URL

<https://officeshimizu.jp>

代表者

清水 深

資本金

350万円

従業員

3人

企業紹介

平成19年の創業以来、車の利用者の状況に応じた福祉車両への改造を行うことによって、福祉先進国と言われるヨーロッパの国々と同じように、自分が乗りたいクルマを自分に合わせていくための技術的な支援を行っている。スウェーデンのBraunAbility社やイタリアのKIVI社等とパートナーシップを結び、製品の輸入に加えて、右ハンドルの日本車や利用者の体型に合わせた調整を行う。後付け回転シートや手動運転装置、車椅子リフト、スロープ、補助ステップ等、怪我や体力の低下、障がい者や高齢者のニーズに寄り添った様々な製品をカスタマイズしている。

取組みの内容

①運転時に必要となる身体能力を測定するためのドライバーテストステーションについて、日本人の体型・体格向けに装置の機能を改良。これにより、以前と比較して各人の状況にあった内容で検証や身体能力測定が可能になった。また、測定内容を数値化して見ることができ、ユーザーの製品選択や車両改造に関する指針や目安も購入前に知ることができるモビリティセンター画面を開発した。②車椅子から運転席へ移乗する際の身体的負担や問題点を検証。③車椅子リフト装置の取付け検証。④ステップ取付け検証の以上4点を実施し、機器の開発と改良を行った。



ハンドルやアクセル・ブレーキなどに取り付ける補助具



整備士への資格認定は、車両を持ち込んで行われる



個人の状況に合わせ、一人での外出を可能にする

サービス開発のポイントと課題

従来の国産福祉車両には完成車メーカーも取り組んでいるが、車種やグレード等が限定的だったため、当社では、自分が乗りたいクルマを改良できるようにヨーロッパの技術を取り入れた。現在、自社ホームページとSNSで紹介しているだけであるが、ユーザーの口コミやSNSの拡散等によって、多くの問い合わせが来るようになった。しかし、企業規模が小さいため全国展開には限界があることから、全国32か所の整備工場と連携し、当社における実施研修を経て認定を受けた整備士が、当社製品を販売・取付けできるという仕組みで、サービスの裾野を広げている。

今後の展望

国産車メーカーは仕様が未公開のため、取付け等で必要なデータや工具は、自社で揃えている。こうしたことが壁となり、新規参入は難しいニッチな分野でもある。ドライバーテストステーションには、障がい者がリハビリ担当者と一緒に訪れ、リハビリの目標点を話し合う場としての活用も進んでいる。また、徳島県では病院にも導入され活用されている。このように、誰もが安全に乘れる車へとカスタマイズするだけでなく、技術を通して、どんなときでも人生の可能性を信じて前向きに取り組む考え方や、様々な人が共生する社会のあり方を、特に子供たちに向けて発信していきたいという。